

9.6 を忘れない

いぶり

北海道胆振東部地震 ～記憶の伝承～

写真提供：北海道新聞

2018年9月6日



一般社団法人
厚真町観光協会

厚真町について



厚真町は、北海道の南西部にある、南北に細長い自然豊かな町です。札幌市へは車で約90分、新千歳空港へは約35分で行くことができます。町の南にはフェリーターミナルもあり、さまざまな地域とつながっています。



厚真町について

厚真町には約1万4500年前(旧石器時代)の遺跡があり、古くから人々が暮らしていたことがわかっています。豊かな自然を活かした第一次産業(農業・林業・漁業)が盛んです。

また、太平洋に面した浜厚真海岸は、北海道有数のサーフスポットとして知られています。人口は約4,400人(2021年12月末現在)。子育て支援・企業支援などを通じた移住促進の取組が行われています。

厚真町の特産品

- 農産物：お米(ななつぼし、ゆめぴりか等)
 ハスカップ(日本一の作付け面積を誇る特産)
 原木しいたけ、小豆、大豆、小麦粉、メロン、かぼちゃ、アスパラ、ジャガイモ、ホウレンソウ、ブロッコリー、イチゴ、スイートコーン、トマト等
- 畜産物：豚、乳牛、和牛、卵等
- 海産物：ホッキ、本シシャモ、マツカワ(カレイ)等
- 加工品：ジンギスカン



あつまコラム

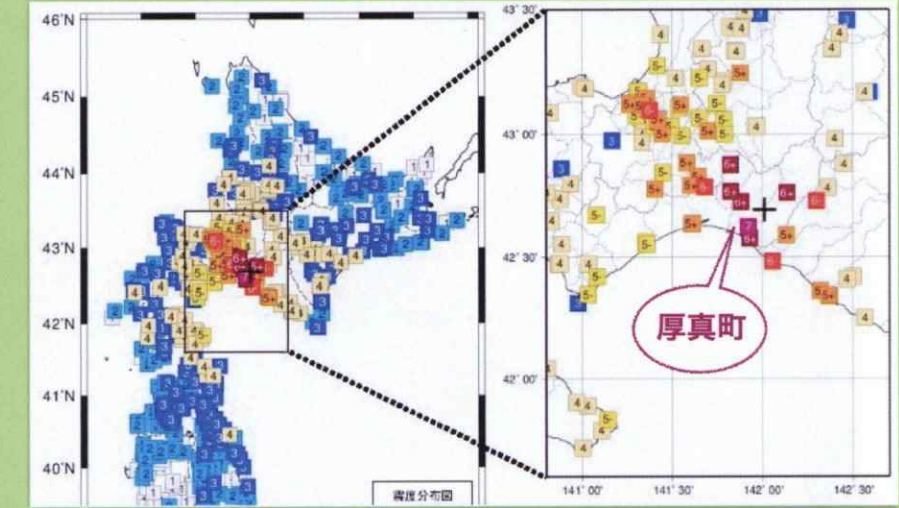
厚真を知ろう!“あつま”の名前の由来 ※諸説があり、次の3つが由来といわれています。

- ①エゾモモンガ(アツ) + 泳ぐ(マ) の意味
- ②オヒョーニレに存在するところ、という「アツ」「オマ」「プ」がなまった
- ③向こうの湿地帯「アットマム」がなまった

北海道胆振東部地震について

2018年北海道胆振東部地震 (2018年9月6日)

- ・発生時刻
2018年9月6日午前3時7分59.3秒
- ・地震の規模
マグニチュード6.7
- ・震源
胆振地方中東部 深さ37km
- ・最大震度
7(厚真町)
- ・北海道内約295万世帯で大規模停電(「ブラックアウト」)



『災害時地震報告平成30年北海道胆振東部地震』(気象庁 2019) p2より

厚真町の被害の特徴



Google Earth (震災前の厚真上空)

地震後



Google Earth (震災後の厚真上空)

3町で発生した斜面崩壊は6,000箇所以上にのぼった

震源に近い厚真町、安平町、むかわ町では、この地震によって多くの山林や建物等が被害を受けました。また、北海道で初めて震度7を観測した厚真町では、地震に伴って発生した大規模な土砂災害等によって37名(災害関連死1名を含む)の尊い命が失われたほか、田畑や建物等も大きな被害を受けました。

<被害状況のデータ>

	内訳	全体	厚真町	安平町	むかわ町
人的被害	最大震度	7	7	6強	6強
	死亡(災害関連死)	44(3)	37(1)	0	1
	重傷	51	0	7	27
	中等傷	8	0	0	0
建物被害	軽傷	726	61	10	250
	全壊	491	235	93	40
	住家 半壊	1,818	337	366	186
	一部損壊	47,105	1,097	2,481	3,260
	非住家 全壊	1,216	687	343	175
非住家 半壊	1,389	669	555	135	
非住家 一部損壊	4,081	816	2,178	569	

出典：北海道 平成30年北海道胆振東部地震による被害状況について [第123報] (令和3年8月1日時点)

町内の被害状況

吉野地区

(地震に伴う土砂災害で、厚真町内最大の人的被害が発生)



2020年9月

<被害状況>

この地域では、ほぼ全ての住居や農家の納屋等の建物が土砂の下敷きになったり押し流されたりしてしまい、19名の尊い命が失われました。

<「教育発祥の地」の石碑>

明治27年、地域住民が子どもたちが学ぶ場所をつくり、のちに正式な学校として認められました。このことを記念して、「教育発祥の地」の石碑が作られました。この石碑は現在も災害前とほぼ同じ場所にあり、吉野地区の歴史を静かに伝えています。

富里地区

(浄水場などの主要施設が被災)



<富里浄水場について>

2018年8月から稼働していた富里浄水場が土砂災害により使用不可能になったため、町内全域にわたって断水しました。

その他、福祉施設など、地域の人々に親しまれていた施設も被害により使用できなくなった他、4名の尊い命が失われました。

※富里浄水場は復旧し、2020年7月から稼働しています。

<断水について>

断水期間 最長34日
最大断水戸数 1,941戸(ほぼ全域)

町内の被害状況

日高幌内川

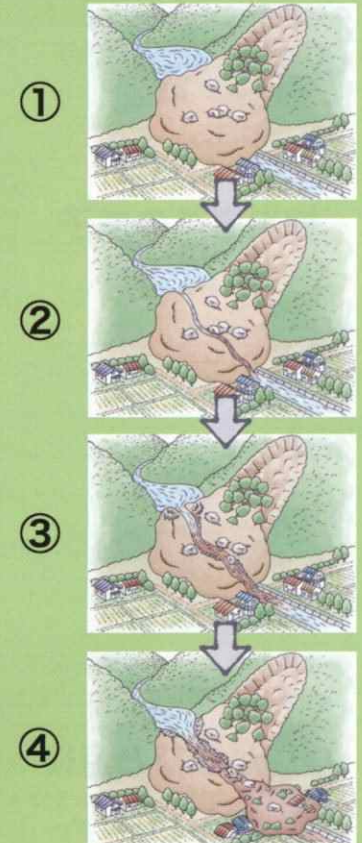
(地震により、大規模な河道閉塞が発生した地域)

<日高幌内川の河道閉塞(河道閉塞=川が土砂でせき止められること)>

厚真川水系日高幌内川において、大規模な河道閉塞が発生した。川に大量の土砂が堆積してしまい、溢れ出た水や土砂によって道路や田畑の被害を受けないように砂防工事が実施されている。

<大規模河道閉塞による危険性>

- ①川の流れが土砂でせき止められ、上流側に水がたまる
- ②河道閉塞箇所の上を、細い水路になって水があふれ始める
- ③水路が広がり、土砂がくずれ始める(決壊)
- ④くずれた土砂が水とまじって、大きな土石流となる



被災した日本一のハスカップ畑たち

あつまコラム

日本一の作付面積をほこる厚真町のハスカップ。厚真町内のハスカップ畑のうち、全体のおよそ1/4が土砂崩れや地盤の隆起などによる被害を受けました。作付面積25h、42,000本 被災面積8.13h(32%) 被災本数11,200本(26%)



土砂が流入したハスカップ畑

復旧後
土砂を撤去し、新たに植樹したハスカップ畑



ハスカップの実とハスカップの花

写真提供: 田中克幸

厚真町の避難所

地震が発生したその日のうちに、厚真町内で7箇所の避難所が開設されました。電気や水道の復旧、仮設住宅の建設などに伴って避難所生活を終えていきました。

被災直後の様子
2018年9月



写真提供：厚真町

避難所は、水や食料、情報を受け取ったり、風呂やシャワー、洗濯機を使える場所でもありました。

段ボールベッドやパーティションが設置され、生活環境が整っていきました。



写真提供：厚真町

⇐炊き出しの食べ物などをもらうために並ぶ様子

被災からひと月後
2018年10月～



写真提供：厚真町

長期化する避難所での暮らしは、食事や睡眠、集団生活のストレスなど心身に大きな負担がかかるものでした。

11月に第一期仮設住宅への入居が始まると、避難所が2カ所に集約されました。

全避難所閉鎖
2018年12月6日



写真提供：厚真町

避難所生活最終日、役場の近くにある避難所で、幌内地区からの避難者8人で「最後の夕食」を一緒に食べました。

厚真町の応急仮設住宅の状況について

厚真町では、約180世帯以上が応急仮設住宅等に入居し最長2年間、住み慣れない環境で生活をしました。

※2018年11月1日、応急仮設住宅第1期入居開始

※2018年11月30日、応急仮設住宅第2期入居開始

<応急仮設住宅等への入居世帯数・人数（最多）>

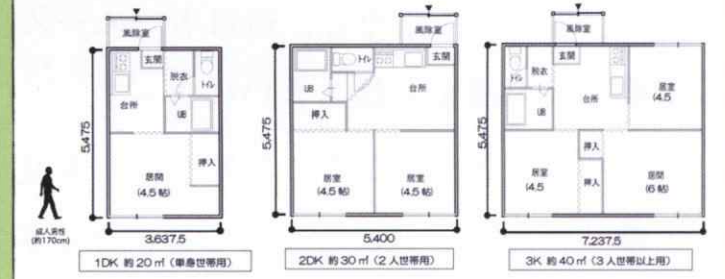
建設型仮設住宅（プレハブ住宅）	127世帯	289名
トレーラーハウス	11世帯	24名
借上型仮設住宅（みなし仮設住宅）	18世帯	30名
公営住宅の一時使用	27世帯	63名
福祉仮設住宅	—	108名

出典：厚真町



写真提供：厚真町

建設型仮設住宅（プレハブ住宅）



資料提供：厚真町

仮設住宅の間取り

避難所生活の体験談

あつまコラム

避難所での集団生活は、小さなことでもかなりのストレスになる。話し声やトイレに立つ音、中には晩酌をする人もいた。ストレス発散も必要で、多少仕方ない部分もあるが、すべての人にとって過ごしやすくすることは難しい。

避難所の状況など情報発信が大事だった。

ペットがいる家庭は周りに気がつかせて車中泊をしていた。

駐車場が足りなかった。自衛隊や報道の車両もあるので、避難所を利用している人の駐車場所が限られる。

プライバシーを守るためのカーテンは、1人分のスペースにとってかなり圧迫感がある。荷物もあまり置けない。

炊き出しの時間が決まっているのでその時間に避難所にいない人は食べることができない。朝早くに出かけなければならない農家の方などは、食べられないことも多かった。

自衛隊が用意してくださった仮設のお風呂が、とてもありがたかった。

仮設住宅の体験談

あつまコラム

家の被害が少なくても、家に帰れるとは限らない。家に帰る道路が復旧するまで待つ必要があった。特に冬は雪や路面凍結により道路の状態が悪くなるので、復旧途中の舗装していない道路は通行できる状況ではなかった。

夜中は、隣人などの人の出入りが気になってしまい落ち着かない。

千歳や苫小牧など近隣の近くのまちな行きやすくなり、ありがたかった。

仮設住宅前の道路は、一般の車以外にも、ダンプやトラック、重機といった大型車がよく通った。振動や音がするたびに落ち着かない気持ちになり、生活に影響が出てしまった。

隣の家の猫の鳴き声や足音も聞こえてしまう。ティッシュペーパーを取るような小さな生活音も聞こえる時があった。

井戸水を使っていたので、水道水の塩素が肌や体質に合わず痒みがひどく眠れなかった。その他のストレスや色々な体の不調により、病院通いをしている人は多かった。